

第98回 東葛しぜん観察会

清水公園で冬の自然を楽しもう

片岡真智子（野田市）

日 時：2014年1月19日（日）9時30分～12時30分

場 所：清水公園近辺（野田市） 天気：晴

参加者：一般11名（内 子ども1名）、指導員16名

担当指導員：片岡 鈴木（と） 西池

昨年は数日前に降った雪が残っており、凍って危険な個所があるため中止。今年もう一度企画することになりました。前日夜の天気予報では『明け方に雪が降る』。「エッ、私って雨女ならぬ雪女だったの」とひとり言を言ってしまいました。当日は寒さ厳しいながら太陽が顔を見てくれ、何とか実施にこぎつけました。

参加申し込みの皆さん、この寒さにしり込みされたのでしょうか、当日キャンセルや欠席者が相次ぎ、結果11名の参加者に16名の指導員が就き、3班に分かれて歩くことになりました。サクラやツツジ、紅葉の時期には大勢の人が訪れる清水公園。この時期はバードウォッチャーの人気のスポットとなります。

テーマに掲げたように 動植物の寒さを乗り切る工夫、春を待つ花の様子、葉痕のかたち、冬芽の様子、いろんな実や種を見つけながら童心に帰って冬の自然を楽しみました。

モミの木の下でセンダンの種を見つけ「あちらの木で実を食べたヒヨドリがこの木で休んで糞を落として行った」と意見が一致しました。拾ったタチバナの実を一袋ずつ分け合って「酸っぱい」「おいしい」口々に感想を言い合っていました。一人参加の鳥好き少年（小5）には指導員がコガラの巣の穴と塘の穴の違いを教わったりしました。ご自分の育った地方での「桟の実の灰汁抜きの方法」を披露してくださる男性もいました。

スズメクイズの間違い探し、「ひとつだけ解らなかった」と残念そうに話しておられた方、これからはきっと注意深くスズメを観察されることでしょう。参加者の皆さん、説明に一つ一つ感動の声を

発してくださり、とても励みになりました、参加者と指導員が一緒になって冬を楽しめたかなと思います。

予定した探鳥コースは強風のため中止となり、重いプロミナを抱えて同行した担当者には出番がなく、ご苦労を掛ける結果になってしまいました。

「冬の自然も観る物いっぱい」と誰かに伝えてくださることを期待している旨を伝え、シャボン玉遊びをして下さいとムクロジの実を土産にお渡しして公園内梅林で解散しました。



ヒマラヤスギのマツボックリ、種の飛び方を見てネ